

## 入院のご案内

### 診療科目

整形外科

リハビリテーション科

リウマチ科

外科

内科

呼吸器内科

消化器内科

麻酔科

放射線科

循環器内科

皮膚科



日本医療機能評価機構認定病院



特定医療法人社団春日会

黒木記念病院

〒874-0031

大分県別府市照波園町14番28号

TEL.0977-67-1211

FAX.0977-66-6673

E-mail info@kuroki-hp.or.jp

<http://www.kuroki-hp.or.jp>

# 目次

目次	
ごあいさつ	1
入院の手続き	2
入院されるときの持ち物	3
入院時の注意点	4
付き添いについて	6
個室などベッド料金について / 入院料の精算	7
患者様へのお願いとお守りいただきたいこと	8
患者相談窓口について	9
安全な入院生活を送っていただくために	10
入院時持参薬について	14
70歳未満の方へ / 70歳以上の方へ	15
フロア図	16
MEMO	17



## ごあいさつ



このたび、本院にご入院、ご療養となりましたことに心よりお見舞い申し上げます。わたくしども職員一同、医療水準の向上に努め、良質で安心できる医療や看護をさせていただきます。皆様方の一日も早いご回復を願っております。

そのために治療内容や療養方法について、可能な限りのご説明をさせていただきます、患者様およびご家族様と相談のうえ実施してまいりますので、よろしくお願いいたします。

また入院中は何かと不自由をおかけすることがあるかと存じますがお気づきのことにつきましては、担当医師または病棟スタッフ事務まで、お問い合わせいただきますようお願いいたします。

## 基本理念



すべての人々の健康を守り、  
幸せな生活を支援する医療法人春日会であること

1. 地域に密着した医療法人春日会としての使命を果たすべし
2. その人が望み、かつふさわしい全人的医療・看護・介護・予防を行うべし
3. 医療法人春日会職員としての自覚と情熱をもつべし

## 入院の手続き



入院が決まりましたら、  
事務の受付にて手続きを行ってください。

1. 健康保険証・診療費についての各種証明書を提示してください。  
〔保険証の確認を毎月行っています。保険証の資格喪失  
若しくは変更等がありましたら、速やかに提示してください。〕
2. 印鑑をご持参ください。
3. 入院誓約書を病棟にてご提出ください。
4. 入院日の確認をしてください。

交通事故・工作中的けがで初診入院の方は、  
入院費等の支払方法が、  
健康保険とは異なることがあります。  
事務受付まで早めにお申し出ください。



## 入院される時の持ち物



貴重品ボックス（鍵付き）を備えておりますが  
盗難防止のために多額の現金や貴重品は持ち込まないように  
最小限のものをご持参ください。

### 1. 洗面・洗髪用具、タオル（最低3枚）

バスタオル（2枚）、小さい洗面器、歯ブラシ、  
くし、石けん、シャンプー、電気カミソリなど

※入歯はお名前を記入したケースと一緒にご持参ください。

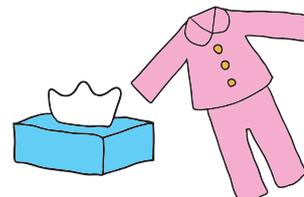


### 2. 食事のときにお使いになるもの（急須、湯のみもしくは水筒、ストロー）

※お箸、スプーンはこちらでご用意しております。

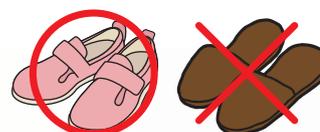
### 3. パジャマ・寝巻き、下着、履き物、ティッシュペーパー

※衣類には全てお名前をご記入ください。



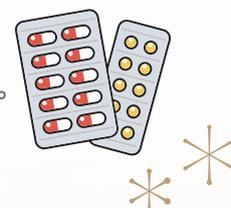
### 4. リハビリを行う方は、運動できる服装、及びシューズ （ご用意できない場合、売店にもあります）

※スリッパは転倒防止のためにおさげください。



### 5. 現在服用している薬があれば、必ずご持参ください。

※手術の場合別途（前開き寝巻き、腹帯など）必要になります。



## 寝具について注意

当院  
備え付けのものを  
使用して  
いただきます。

感染管理上、  
毛布類の持ち込みは  
ご遠慮ください。

シーツ・毛布  
枕カバーは定期的に  
交換いたします。

特に汚染の著しい場合はその都度交換いたします。

## 入院時の注意点



入院前より治療中の疾患があり、薬がきれた場合などで、他の病院へ受診する場合（ご家族がとりにいく場合も含む）は必ず、看護師長もしくは病棟スタッフへご連絡ください。

### 食事時間

朝食： 8:00 頃

昼食： 12:00 頃

夕食： 18:00 頃

適時適温食を提供しております。但し検査のため絶食または時間変更をする場合がございます。ご了承ください。



### 入浴時間

9:30 ~ 11:30

13:30 ~ 16:30

奇数日 午前（男性）  
午後（女性）  
偶数日 午前（女性）  
午後（男性）

注意事項：7階展望大浴場について

- 患者様ご自身で入浴が可能な場合に7階展望大浴場のご利用ができます。
- 入浴にかかわる安全性の確保のために「入浴カード」による管理を行っています。



### 面会時間

平日 13:00 ~ 20:00

休日 10:00 ~ 20:00

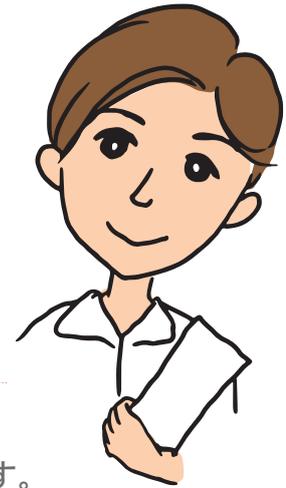
左記以外のご面会につきましては診療や処置などの支障となるほか他の患者様のご迷惑となりますのでご遠慮ください。



## 入院時の注意点



飲食物の持ち込み、配布、および酒気を帯びた方の面会は他の患者様の治療への配慮がありますのでご遠慮ください。  
季節性の感染症（インフルエンザなど）の発生時には面会を制限させていただく場合がございます。ご協力お願いいたします。



消灯時間：21:00

□消灯後は、他の患者様に迷惑をかけないようにお願いします。

□外泊又は外出は医師の許可が必要です。  
事前に看護師にお申し出ください。  
但し、症状によって許可が下りない場合もあります。

散歩などの場合にも、必ずお声を掛けてください。

□テレビ・冷蔵庫（カード式有料）は、1人1台ずつ床頭台に設置しています。  
カードは病棟各階エレベーター横の発券機でお求めください。

※カードの精算は1階受付横の精算機を通して行います。  
（返金があれば、お返しします。）

※イヤホンは受付で販売しています。（150円／1個）

□病室入り口の患者名の表示を希望されない方は、職員に申し出てください。

正面玄関は18:00に、夜間通用口は20:30に施錠します。

□病院外への出入りが制限されます。ご了承ください。  
※急用な場合は、看護師に申し出て夜間通用口をご利用ください。  
※朝は7:00に正面玄関が開錠します。

## 入院時の注意点

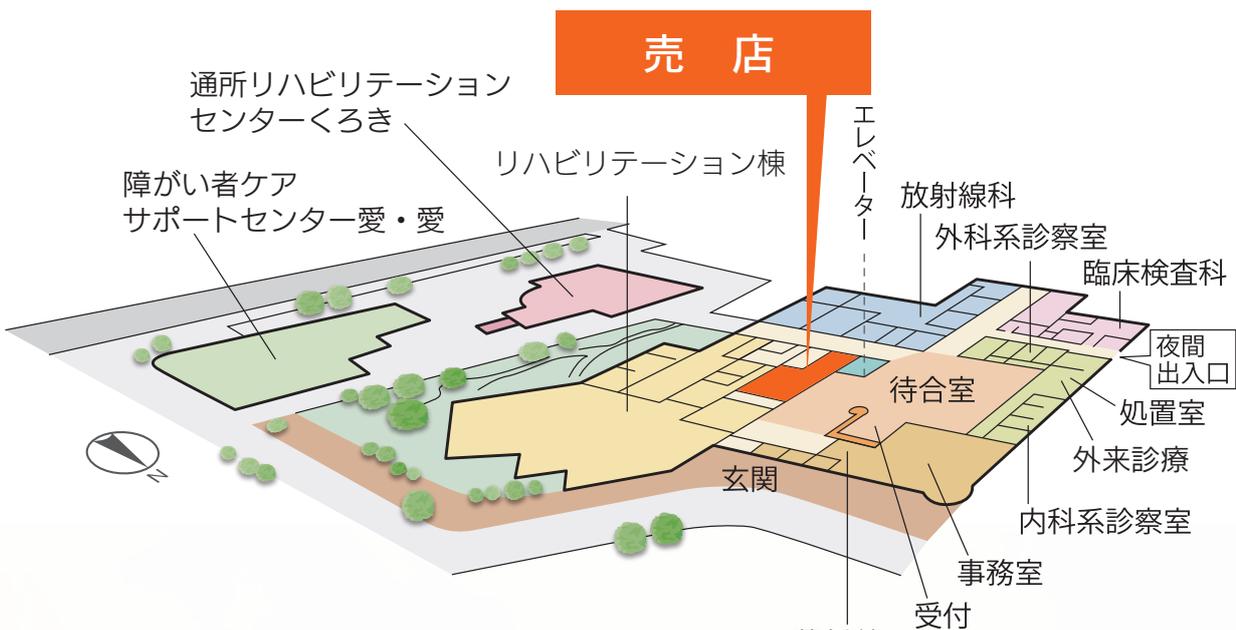
### 売店

月～金曜：8:30～17:00

土曜：8:30～16:00

日・祝日：10:00～15:00

1階にあります。  
身の回りのものは  
一通り販売いたしております。



- コインランドリーは各病棟にあります。(有料) 薬剤科
- 入院期間中の長期に渡るマイカー駐車は、ご遠慮ください。  
やむを得ず利用される場合は、必ず当院の許可を受けてください。

## 付き添いについて

入院基本料に関する施設基準により、患者様へのご家族様の付き添いは原則として必要ありません。  
ただし、患者様の病状等によって、ご家族様が付き添いを希望される場合は担当医師もしくは病棟師長にご相談ください。

## 個室などベッド料金について



個室を希望される方は、お申し出ください。ただし、自費となります。



7階	701～706号室（トイレ有）	1日	3,000円
	709～712号室（トイレ無）	1日	2,000円
6階	601・602・616・617号室	1日	3,000円
	604～607号室（トイレ有）	1日	3,500円
4・5階	1人室	1日	2,500円
	2人室	1日	1,500円

※4人室の室料差額は無料です。

※表示金額は消費税抜きです。

## 入院料の精算



入院料その他の費用については、健康保険法に基づいて計算します。  
月末締めにて翌月15日前後に、請求書を作成し配布しますので  
原則として月末までにお支払いください。（1階受付までお越しく下さい。）

※退院時は当日1階受付窓口にてご精算ください。

## 患者様へのお願いとお守りいただきたいこと



患者様は、誰でも人間としての尊厳を有しながら医療を受ける権利を持っております。当院ではこの権利を守り、患者様の医療に対する主体的な参加を支援しています。

また、医療は患者様と病院とがお互いの信頼関係に基づき、協働して作り上げていくものであり、患者様にもパートナーとしてお守りいただきたい事があります。その点十分にご理解いただき、ご協力よろしくお願いたします。



- **リストバンド装着のお願い。**安全な医療の提供のため、入院患者様にリストバンドを装着していただいております。

リストバンドは、「患者様のお名前」「ふりがな」「ID番号」「性別」「生年月日」を表示したバンドを手首に装着することで手術・検査・点滴・投薬などにおける患者様の誤認を防止し、入院治療を安全に行うためのものです。ご本人の確認が口頭で困難な場合にも確認が可能となります。

リストバンドの装着は患者様の自由意思によりますが、リストバンド導入の主旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

- 患者様の状態や、治療等についての的確な判断を行う為に、家族歴、既往歴、アレルギーの有無など、自身の健康に関する情報をできるだけ正確にお伝えください。
- 病院では、数多くの患者様に様々な医療サービスを提供しており、通常の社会生活にはない制約を受けざるを得ない場合がございます。このことを十分ご理解いただき、他の患者様の治療や職員による医療提供に支障を与えないようご協力ください。
- 入院は共同生活です。病院内での大声や暴行、飲酒や無断外泊・外出など他人に迷惑をかける場合、強制的に退院していただく場合がございます。
- 当院からの貸与品、備品、器具等を紛失・破損した際は実費をご負担いただく場合がございますので、丁寧にお取り扱いください。



## 患者様へのお願いとお守りいただきたいこと

□証明書および診断書の依頼は1階受付までお申し出ください。

□ハサミ等の鋭利なものは持ち込まないでください。

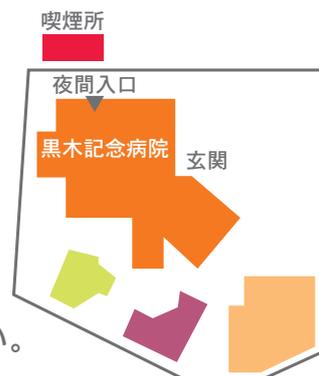
□新聞購読を希望される場合は、患者様にてお手続きください。

□お受け取りの郵便物の宛名は病棟名を必ずお書きください。

□喫煙所は敷地内に1ヶ所のみです。  
決められた場所以外での喫煙はしないでください。  
ルールを守ってご利用ください。

□携帯電話は下記の点に注意してご使用ください。  
・マナーモードをご使用ください。  
・周りの患者様に迷惑の掛からないようにご使用ください。  
（特に夜間の病室での使用はご遠慮ください。）  
・携帯電話使用禁止の掲示場所ではご使用をお控えください。

□地震や火災等の非常時には、職員の指示に従ってあわてず行動してください。  
ナースステーション横と食堂の前に非常階段があります。



## 患者相談窓口について

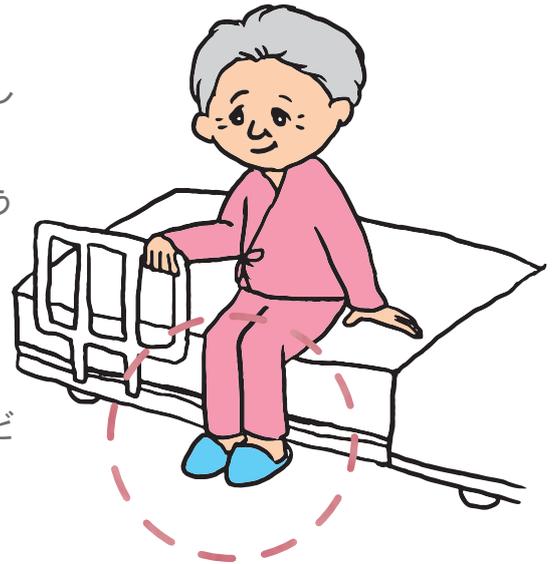
当院では、患者様やご家族様からの医療に関する相談や苦情ご意見などに適切に対応するために「患者相談室、医療福祉相談室」(正面玄関出入り口横)を設置し、医療安全管理者(看護師)医療ソーシャルワーカーを配置しております。  
ご相談の際は、受付(事務)職員までお気軽にお声をかけてください。

## 安全な入院生活を送っていただくために

入院中は、病気やけがなどによって体を動かすことが不自由な状態となっている方が多いと思います。自宅と環境が異なる入院生活では、予想以上に転びやすい状況になります。そこで、次のようなことに注意をお願いします。

### ベッド上生活での注意点

- ベッドの高さは、座って床に足がつく高さに調節します。
- ベッドの上で立ったり、身を乗り出して物をとろうとしないでください。
- 物を落としたときは無理な体勢でとろうとせず、ナースコールを押して職員を呼んでください。
- ベッドの周囲にあるオーバーテーブル・床頭台などは、つかまると不安定なので大変危険です。コード・チューブ類にも注意してください。



### 歩行器を使用する場合

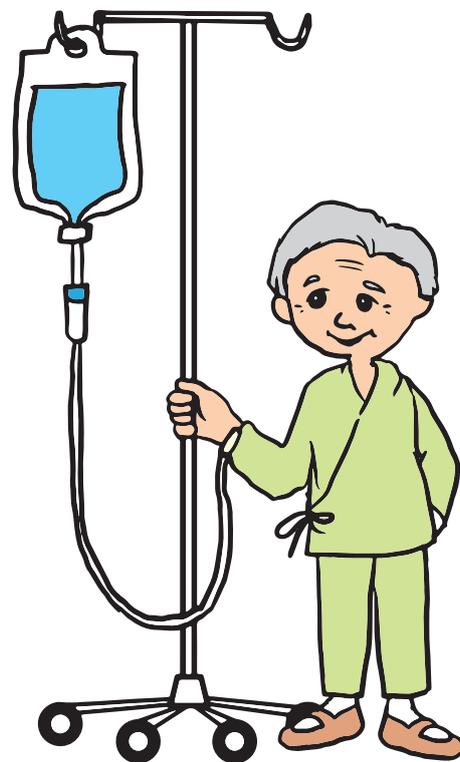
- 歩行器はブレーキがついていません。立ち上がる時や腰かけるときは歩行器に頼らないようにしましょう。
- 歩行器を使いながら急いで歩くと、歩行器だけが先に行ってしまう、転んでしまいます。ゆっくり一歩ずつ歩くようにしましょう。足を引っ掛けたり、絡まったりすることもありますので十分注意してください。





### 点滴中の注意点

- 点滴中に動くときや立ち上がる際に、点滴台を支えにせず、しっかり固定されている物につかまってください。
- 点滴台を押しながら歩くときは、ゆっくり歩いてください。キャスターがついているので、支えにすると危険です。



### トイレに関する注意点

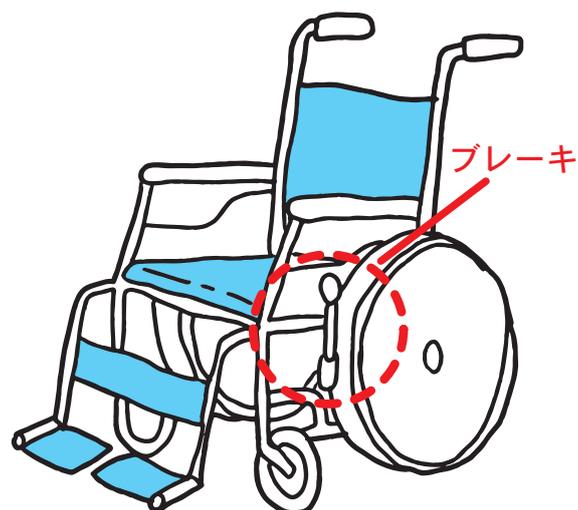
- 朝起きた直後や夜の消灯前後の時間帯は転倒が多いです。消灯後は周りが暗いので、トイレはなるべく消灯前に済ませてください。  
消灯後に行く場合遠慮せず職員を呼んでください。
- 尿器やポータブルトイレを設置することも出来ます。職員にご相談ください。
- トイレの入り口は大変狭くなっています。点滴台や尿カップを持っての移動は、慎重にお願いします。不安な場合は看護師にお声かけください。





### 車椅子を使用するときの注意点

- ベッドや車椅子に乗り移る場合は車椅子のブレーキをしっかりと止めて、安全確認を行ってから乗り移りましょう。
- 足をのせる部分の上に立ち上がると、非常に危険です。車椅子から降りるときは、床にしっかりと足をつけてから、立ち上がるようにしましょう。



### 履き物に関する注意点

- スリッパは滑りやすく、脱げやすいので転倒につながる危険が高いです。靴を履くことをおすすめします。
- 靴はかかとを踏まないようお願いします。
- 歩くと床がキュッキュッとなるような滑り止めの強いスニーカーも、実は転びやすいといわれています。脱ぎ履きも楽で比較的安価な靴は売店でも取り扱っています。



## 安全な入院生活を送っていただくために

### おくすりを服用するときの注意点

- 血圧を下げるお薬や睡眠剤、痛み止めのお薬は内服後に足元がふらつくことがあります。立ち上がりには十分お気をつけください。特に睡眠剤を内服の方は、寝る支度を済ませてから、飲むようにしてください。
- ふらつきがあるようでしたら職員をお呼びください。



### その他

- 床が濡れていると滑りやすくなります。水・お茶をこぼしてしまったときや、ぬれた床にお気づきのときは必ず職員にお知らせください。
- 廊下の曲がり角では、出会い頭の衝突や壁の角に点滴台を引っかけてしまうなど転倒の危険が高い場所です。ゆっくりと歩き安全確認を行いましょう。



## 入院される患者様へ（入院時持参薬について）

当院薬剤部では、患者様がより安心・安全な薬物療法を受けられるよう入院時に「持参薬」を確認させていただいています。

## 持参薬を調べるためにお持ちいただきたいもの

- ・ 現在お飲みになっている内服薬、使用している目薬、塗り薬、貼り薬、吸入薬などの外用薬、インスリンなどの注射薬（入院期間を通じて服用を継続できるようにご持参ください。）
- ・ お薬手帳
- ・ 病院、薬局等でいただいた説明書
- ・ 栄養補助食品（サプリメント）など

※手術や検査をするために中止しているお薬があれば、それもお持ちください。これまでに、お薬などでアレルギーや副作用が出た経験のある場合は申し出てください。

※持参薬がない方であっても、アレルギー歴や副作用歴などをお伺いしております。入院時にお持ちいただいたお薬（持参薬）の入院後の服用については、医師が判断し持参薬を継続か否かを決定しております。その際、持参薬の残薬がバラバラの場合、持参薬と院内処方薬が混在しその管理は非常に複雑となるため、安全面及び管理上、持参薬を使用しない場合があります。申し訳ありませんがご了承ください。使用しない持参薬については、ご家族の方に返却いたします。また、持参薬の中には前院でお薬がすでに中止になっており現在使用していないお薬が含まれている場合があります。その場合、中止薬はそのまま本人様（またはご家族の方）にお返しする場合があります。

## 入院中のお薬について

当院では、先発医薬品と同じ効果がある後発医薬品（ジェネリック）を採用しています。後発医薬品の使用は、国の指導により医療費の削減、患者様の自己負担の軽減を目的に行われており当院でも積極的に取り組んでいます。理解と協力をお願いします。

## 他病院からお薬をもらっている方へ



当院入院中は原則他の医療機関を受診することはできません。  
ご入院中に、かかりつけのお医者様からの投薬などを希望される方は必ず看護師までお知らせください。

当院に無い診療科よりお薬等をもたらしている方などはご入院中であってもご受診していただく場合がございます。  
その際は、当院の医師の判断に基づきますので、看護師よりお手紙を受け取られご持参されてください。  
お薬の重複などを防止する為にも、必ずお守りくださいますようお願い申し上げます。

## 70歳未満の方へ



医療費が高額になりそうなときは限度額適用認定証をご利用ください

皆様が加入されている健康保険には、1ヶ月間（1日～末日）にかかる医療費が高額になるときに支払いが軽減される「限度額適用認定証」という制度があります。  
入院される際に各健康保険の窓口申請をされますと、「限度額適用認定証」の交付を受けることができます。これを病院受付に提示されますと、一定の額（自己負担限度額といいます）を超えた分の支払いが軽減されます。

## 70歳以上の方へ

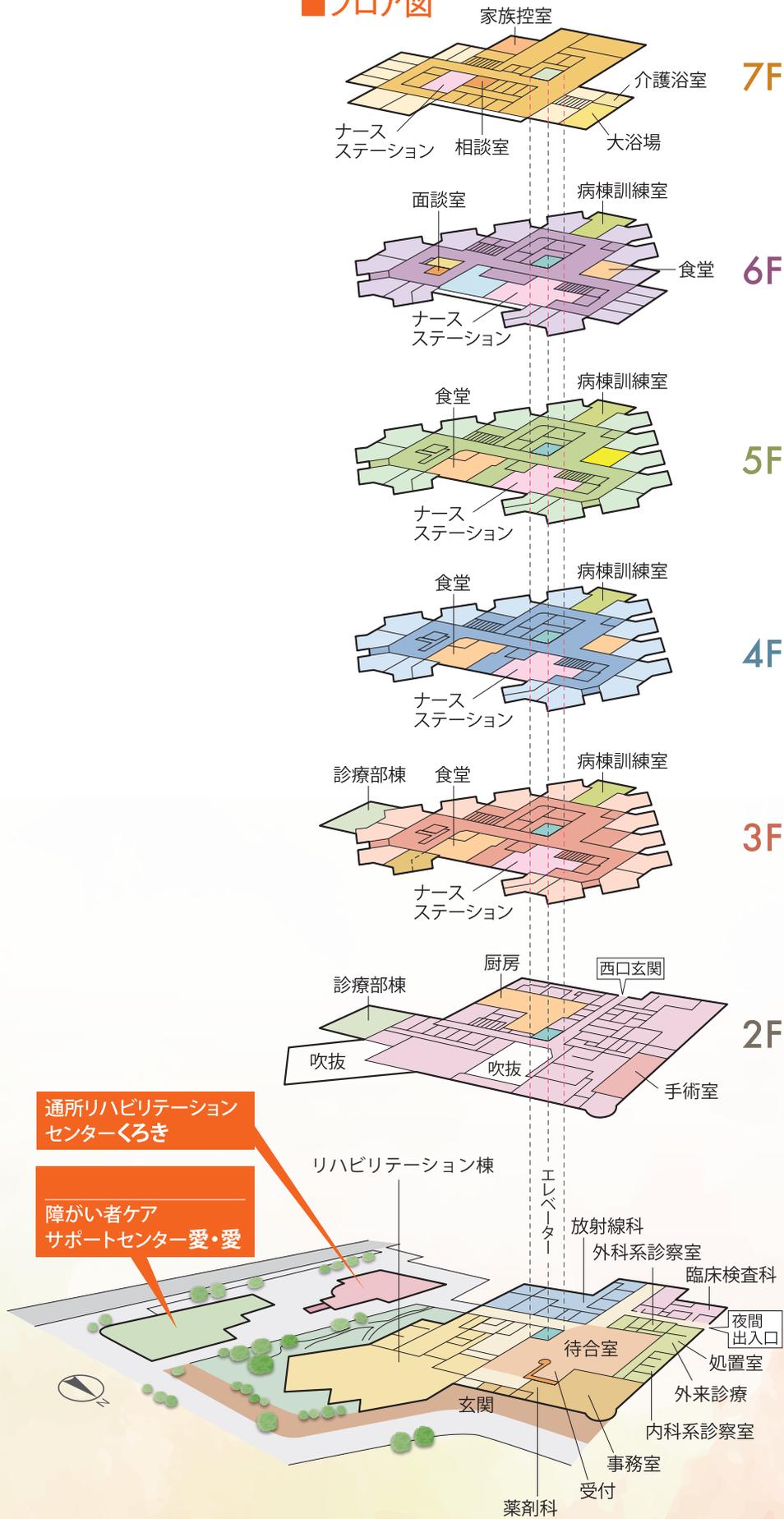


限度額適用・標準負担額減額認定証をご利用ください（対象の方に限ります）

低所得区分の方（お住まいの各市役所・町村役場にて確認ができます）に限り、上記認定証を申請し受付に提示いただくことで、医療費及び食事代が軽減されます。既にお持ちの方は、ご入院の際必ず受付にご提示ください。  
提示されない場合は減額されません。

※詳しくは、1階受付にておたずねください。

■フロア図



MEMO



